

経営比較分析表（令和6年度決算）

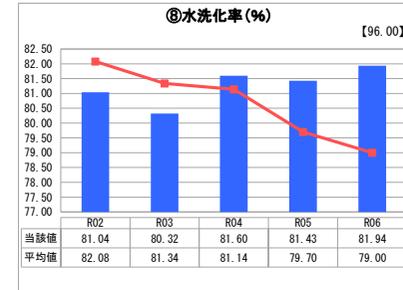
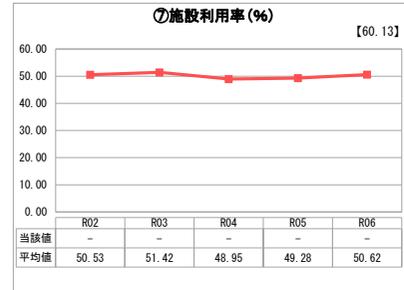
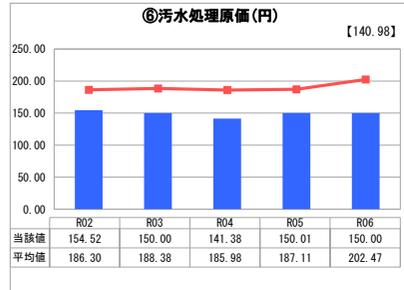
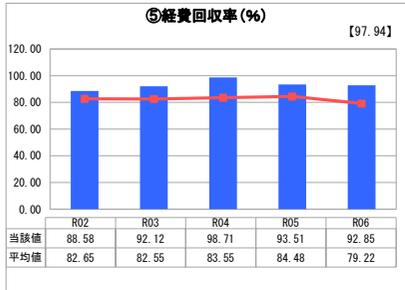
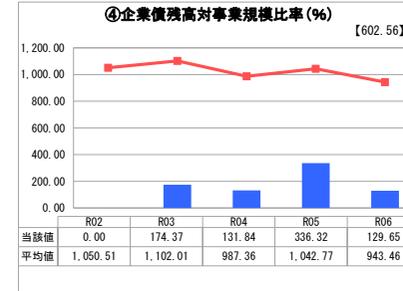
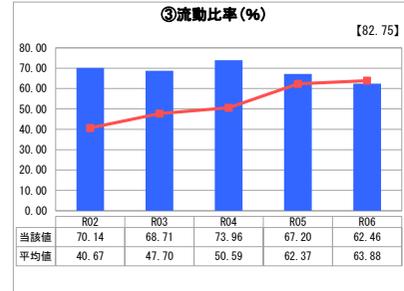
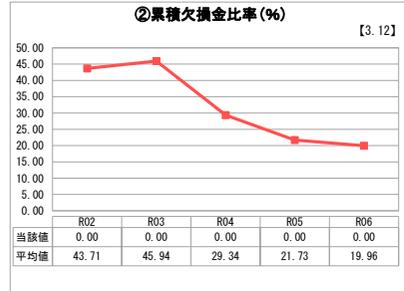
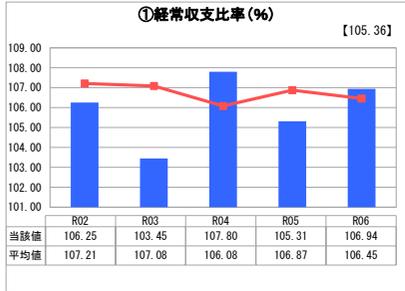
埼玉県 小川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	51.13	58.66	92.57	2,410

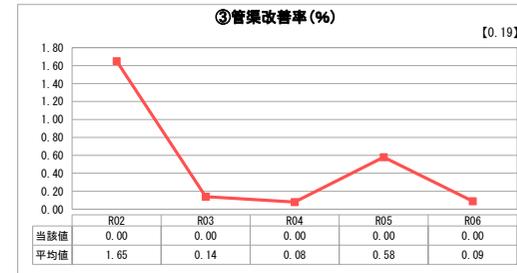
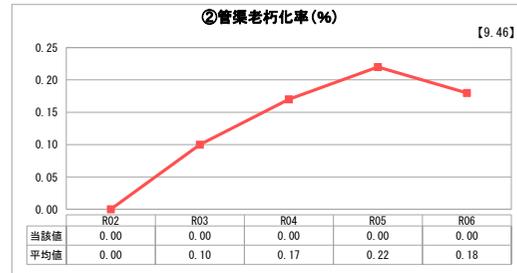
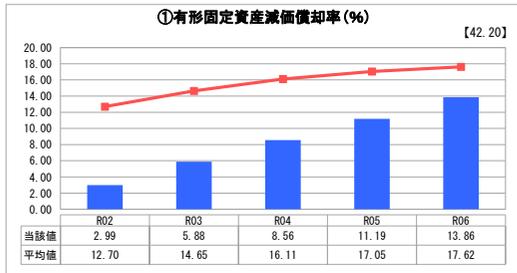
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
27,448	60.36	454.74
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
16,009	4.96	3,227.62

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率 100%は上回っているものの、実態は一般会計からの基準外繰入金に頼った経営となっている。
 ② 累積欠損金比率 累積欠損金は発生していない。
 ③ 流動比率 主に現金預金が減少したことにより数値が減少した。類似団体平均及び健全性のラインである100%を下回っているが、令和8年度に実施する使用料改定により改善される見込み。
 ④ 企業債残高対事業規模比率 整備予定区域の工事が終了し、企業債の償還が進めば比率はさらに改善される見込み。
 ⑤ 経費回収率 類似団体平均は上回っているものの、100%を下回っており、経費を使用料で賄っていない状況である。令和8年度に実施する使用料改定により数値は改善される見込み。
 ⑥ 汚水処理原価 類似団体平均を下回っているが、令和8年度以降は流域下水道維持管理負担金単価が値上げとなるため、数値の悪化が予想される。
 ⑦ 施設利用率 該当数値なし。
 ⑧ 水洗化率 類似団体平均は上回っているものの、下水道の供用開始区域を毎年拡大しているため、水洗化率が伸び悩んでいる状況である。令和8年度には整備予定区域の工事が終了するため、その後は向上する見込み。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率 下水道整備の開始時期が比較的遅かったことから比率は低くなっている。
 ② 管渠老朽化率 まだ法定耐用年数を超えた管渠はない。
 ③ 管渠改善率 新区域の整備段階であり、更新時期を迎えた管渠がないため、更新に対する投資は行っていない。しかし、今後更新の時期を迎え、多額の費用が見込まれるため、ストックマネジメント計画に基づき管路の点検調査を実施し、適切に更新工事を実施していく。

全体総括

現在は供用開始エリアを順次拡大していることもあり使用料収入は横ばい傾向にあるが、今後は人口減少等により使用料収入の減少が予想される。また、令和8年度に新規整備は概ね終了する見込みであるものの、それ以降は、団地開発により整備された管路が一齐に更新時期を迎える。このような厳しい状況を踏まえ、投資については、更新時期の平準化を図り、財政収支とのバランスのとれた更新を実施していく。収支は純利益が生じており黒字となっているが、汚水処理に係る経費を使用料収入で賄っておらず、一般会計からの繰入金に頼っている状況である。経費の抑制とともに水洗化率の向上や令和8年度に実施する下水道使用料の改定により適切な収入を確保し、将来にわたり安定した下水道事業の運営を実現する。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。